

## 「食育月間」の取組実績

提出都道府県名	奈良県
取組団体名	カフェ エトランジェ・ナラッド、奈良東京2030年会
取組の名称	PechaKuchaNight奈良(ペチャクチャナイト奈良)
実施時期	平成29年6月24日(土)
取組内容	<p><b>【目的】</b>新しくリニューアルオープン(平成29年6月4日)した奈良市観光センター「NARANICLE(ナラニクル)」内のカフェにおいて、奈良の食の魅力を発信するとともに、奈良に関わる多くの方の交流を通じた地域活性化を目的とする。</p> <p><b>【参加者】</b>市民、学生、事業者、生産者、飲食店関係者等 合計115名</p> <p><b>【共催】</b>カフェ エトランジェ・ナラッド、奈良東京2030年会</p> <p><b>【協力】</b>奈良市、奈良市観光協会、株式会社バルニバービ</p> <p><b>【内容】</b>平成29年6月4日にリニューアルした奈良市観光センター「NARANICLE」は、多くの観光客が行き来する大通りに面し、新しくオープンしたカフェでは、“奈良ならではの”素材や食文化を取り入れた、和を感じるヨーロッパメニューを提供しています。木箱に詰めたランチボックス、ナポリピッツァ、大和野菜のバーニャカウダや奈良の地酒も楽しめず。カフェと観光センターの共有スペースは、奈良を旅する人々と地域の皆さんの交流の場となっており、定期的にワークショップが開催されたり、人気のお土産販売、地野菜を販売するマルシェの開催など、食を通じた情報発信の場となっています。</p> <p>本イベントでは、栄養士が考案した奈良の大和野菜を使った健康的なプレートメニュー(大和丸ナスを使ったラタトゥイユ、奈良漬けとひじきのサラダ等)を提供し、参加者に好評でした。</p> <p>また、6組のプレゼンターのうち「奈良食べる通信」代表の福吉貴英さんは、現代は生産者と消費者の距離が遠くなり、普段口にするものがどのようにしてできたのかわからない人が増えていることを危惧され「奈良食べる通信」を始められました。「奈良食べる通信」は、生産者を取材した情報誌と、その方が育てた食べものが隔月で自宅に届くサービスで、生産者さんを招いての食事会や、現地見学ツアー、SNSでの交流など、新しく楽しい「食べる」体験ができます。こういった生産者と消費者の顔の見える交流が地産地消を促し食育にもつながると説明されました。</p> <p>※「奈良東京2030年会」とは、2030年を目標年度に、奈良在住の人や関東在住の奈良出身者など、奈良に関わる人がつながることで奈良の魅力を発信を行う団体です。</p> <p>※「PechaKuchaNight」とは、プレゼンターが20枚のスライドを各20秒用いて説明する世界各国で行われているプレゼンイベントです。</p>
	  
	<p>奈良市観光センター「NARANICLE」</p> <p>「奈良食べる通信」代表の福吉さんによる説明</p> <p>1日限定のサラダプレート</p>